

社会科

1年

※MS太ゴシックは学力向上に関わる内容

※下線部は表現する能力の向上に関わる内容

課題分析	授業改善推進プラン
<p>1 知識・技能 知識・技能の不十分な生徒（達成率が50%未満）は、19名（約18%）であった。 授業ではわかったつもりになっていても反復練習をしないために、試験範囲が広いと、知識が定着できない生徒がいる。また、図やグラフの読み取りを苦手とする生徒が一定数見られる。</p> <p>2 思考・判断・表現 思考・判断・表現が不十分な生徒（達成率が50%未満）は、34名（約33%）であった。世界や日本の略図などの描き方が拙劣であったり、自分の考えを文章でまとめることを苦手とする生徒がみられる。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 主体的に学習に取り組む態度が不十分な生徒（達成率50%未満）は19名（約18%）であり、一部に社会科に対して苦手意識を持っている生徒がいることがうかがえる。</p>	<p>1 知識・技能 反復して書いて覚える作業を取り入れるとともに、授業内でワークシート等を使い、基本用語や基礎知識の定着を図る。また、個人ごとにタブレットで閲覧できるデジタル教科書を有効活用できるように指導する。 また、図やグラフから読み取ったことがらを既習事項と結びつけて判断したり、文章化したりする作業を意識的に授業内で増やすようにする。</p> <p>2 思考・判断・表現 白地図等の作業（グラフ作成や着色なども含め）を丁寧にを行うように指導する。 また、複数の事象の関連性を掴ませるとともに、ワークシートに短文でまとめる活動や<u>自分の考えを記入させる機会をさらに多く設ける。</u></p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 電子黒板を常用化し、NHKの動画を効果的に視聴させるなどして、視覚に訴える活動をより多く取り入れ、興味関心を高める。また、新聞記事や時事的話題を多く取り入れ社会的関心を高める。さらにSDGsなどの社会的な問題に対する課題意識をもたせる発問を多くする。 提出物課題は締切期日を早めに明示し、全員が提出できるように丁寧な指導を行う。</p>